

CORIMAのカーボンホイール



CORIMA の歴史

1973年、フランスのリオンから南へ100kmほど下ったロリオル・シュル・ドロームを本拠地として Pierre MARTIN と Jean-Marie RIFFARD によって設立。

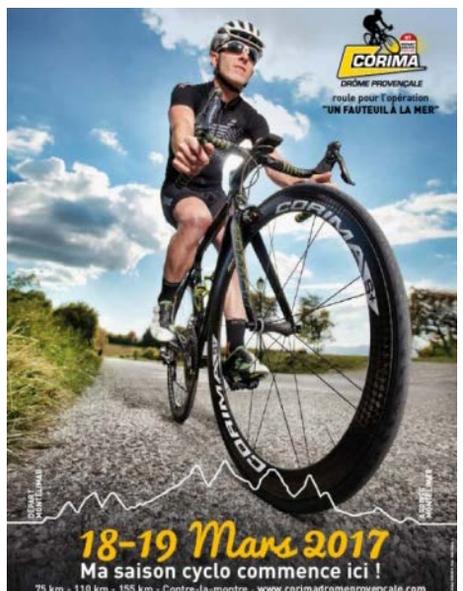
CORIMA という名前は **CO**operation **R**iffard **MA**rtin という意味で共同創設者の2人の名前から付けられた。

初期の活動は、機械的な成形であり、鋳物工場、自動車、特に航空分野のための金型とモデルの製作であった。

1980年、軍事ヘリコプターのためのカーボンボディのモデルを制作。

1988年、カーボンコンポジット製品の制作を多様化し、サイクリング部門のための最初の製品「ディスクホイール」を発売。これに続いて自転車用の他の多くのフルカーボン製品の開発・製造を開始。2009年、創設者の子息である Pierre-Jean MARTIN(代表取締役)がコリマの運営に参加し、姉たちと一緒に経営を担う。プロチームへのサポートを積極的に行い、選手の活躍とともにコリマブランドの確立に貢献。

2010年からCORIMA Drome Provencale レースを開催。サイクリングシーズンの開始と春を祝うイベントで、毎年3月半ばに Montelimar (ドローム県)で行われ、国内外から2000人が集まる。もちろん、日本からも参加可能。



CORIMA の技術進歩

ディスクホイール、4スポークホイール、軽量ホイール、クリンチャーホイールと、今では当たり前存在するカーボンホイールをまだほとんど制作されていない時から、開発・製造していたカーボンホイール制作の先駆者、コリマ。有名ブランドのOEM製品を手掛け、飽くなきカーボンの技術革新とともにフルカーボンクリンチャーホイールやチューブレスロードホイールを最初に世に送り出してきた。



ロード及びトラック競技のスペシャリストと協力し、フィールドバックを得て、数々の勝利、世界記録に関わっている。また、ハンドバイクや車椅子のカーボンホイール制作においても多くのスポーツをサポートし続けている。創設者の Pierre MARTIN はスポーツ選手用のカーボン義足の開発・制作にも情熱を注いできており、会社を継いだ Pierre-Jean MARTIN も“made in France”に誇りを持ち、その開発精神は受け継がれている。アスリート達へのサポートにも力を注ぎ、また選手からのコリマホイールへの信頼も厚い。2016年でチーム ASTANA との契約が切れた後もスポンサーのホイールは練習用に、コリマのホイールはレースで使用したいというアスタナからの申し出を受けている。

CORIMA の技術



独創性

カーボンホイールの中はどうなっているの？リムの切断面を見ると中に成形後に抜いた風船のカスが残っているのが見えたりする。コリマのカーボンホイールは他にはない独自の製法を取る。特殊発泡剤にカーボンを巻いていく。リムハイต์が高いホイールでも中身は発泡剤で埋まっているので、スポークで引っ張られても凹むことはない。また、リムの中に補強のカーボンシートが入っているため、剛性は高く、軽量に仕上げることができる。



軽量ホイール

ディスクホイールを外側から 50mm カットして測った実重量は 248g !

ディスクホイールの重量が 985g だとしてもホイールの外周部分が軽ければ体感重量はさらに軽く、実際にホイールの回転時、抵抗が少なく加速が速い。

外周部分の重量を軽くして最速ホイールへの挑戦は続く。



エアロダイナミック

コリマの4スポークは20数年前の1990年に開発・発売されたが、そのときすでに完成されたものだった。リムの輪郭とスポークの形状は、先頭の端と末尾の端が水滴のようで、空気力学的に非常に優れている。ディスクホイールと同等



のエアロ効果を得ることができ、しかも横風の影響を受けにくい。2010年に発売されたMCCホイールは、カーボンスポークが採用されており、たわみにくく、モノコックホイールと同等のエアロ効果がある。

ハブ

アルミ製のハブ“S”、“S1”とカーボン製のハブ“S+”、“MCC S+”のすべてが、コリマの研究所で開発され、フランスで製造されている。



アルミハブは、最新の機械加工装置を使用して精密工学専門家によって最高の合金から製造されている。カーボンハブはコリマ

の専用の成形技術によって製造。仕上がりの優れた品質で強度と軽さを兼ね備えている。アルミ製、カーボン製のすべてのハブは、30歯のフリーホイールラチェットリングと17mm径のチタン/アルミ製のハブシャフトといった最新の技術革新を享有している。高級カートリッジベアリングが取り付けられており、フリーボディカセット本体の3本の爪はバネで固定されており、サイドナットを外せば、工具無しで簡単に取り外すことができる。また、スプロケットレンチがベアリングの取り外しにも使用できる。高性能でメンテナンスが簡単。

ブレーキパッド

CORIMAのブレーキパッドは、特にカーボンリムの制動用に開発されている。研究室で行われた試験の結果と最も重要なレース中のプロサイクリストによる極端なブレーキング条件での過去2年間の実験の結果である。安全性を高めるために、新しい



CORIMAブレーキパッドは、晴天・雨天時によるブレーキ効率の向上、耐熱性、耐摩耗性の向上を提供する。また、その構成成分によりブレーキングに伴う騒音の排除とパッドの柔軟性により取り付けが容易になっている。

